資料　３－１

第２次山形県循環型社会形成推進計画【中間見直し版】の令和元年度取組状況

基本理念と基本目標		施策の柱	施策項目	令和元年度の主な取組内容　（［　］内：実績など）
基本理念	基本目標			
県民協働で、低炭素社会に貢献するごみゼロやまがたの実現	全国一ごみの少ない県を目指して	Ⅰ資源循環型社会システムの形成（廃棄物の発生抑制）	施策１　廃棄物の発生抑制及び再使用を優先する３Ｒの推進	○ごみゼロやまがた推進県民会議の開催 ○ごみゼロやまがた県民運動による街頭啓発キャンペーン　［5/30：県内４地区の大型店舗で実施］ ○もったいない山形協力店登録制度による食品ロス削減　［累計登録件数(10 月末)：270 件］ ○令和元年やまがた環境展の開催による３Ｒの普及啓発　［来場者数：18,489 人］ ○大学と連携した３Ｒ推進ワークショップの開催　［東北芸術工科大学に委託］ ○環境にやさしい料理レシピコンテストの開催による食品ロスの啓発　［応募数：67 件］ ○食品ロス削減シンポジウムの開催　［11/26：県高度技術研究センターで開催］
			施策２　３Ｒに係る人材育成等総合的な施策の推進	○環境教育への相談支援、情報発信、環境学習機会の提供や環境学習プログラムの整備（環境企画課） ○環境学習支援団体の認定や交流会の開催（環境企画課） ○環境保全・創造に功績があった個人、団体の顕彰（環境企画課） ○リサイクルシステム認証制度による循環システム形成の推進 ［認証システム数（10 月）：７システム］
	リサイクル等の循環型産業を振興	Ⅱ資源の循環を担う産業の振興（循環型産業の支援）	施策３　循環型産業の育成強化	○３Ｒ推進環境コーディネーターによる企業の環境活動への支援　［相談件数(9 月末)：85 件］ ○企業の３Ｒ事業構築支援やマッチング支援のための専門家派遣 ○循環型産業を推進するためのトップセミナーの開催　［9/9：80 名参加］ ○企業が行う３Ｒ研究開発や事業化調査に対する支援　［4 件採択］ ○廃棄物の排出抑制やリサイクルを推進する施設・設備整備に対する支援　［4 件採択］
			施策４　循環型産業の市場拡大	○リサイクル製品の認定　［認定数（10 月）：51 製品］ ○リサイクル製品等の販路拡大に向けた普及促進の支援 ○酒田港リサイクルポート振興に向けたセミナーの開催（空港港湾課）
			施策５　産業ニーズに合致した循環型産業の展開	○３Ｒ推進環境コーディネーターによる企業の環境活動への支援(再掲)
			施策６　循環型資源の総合利用の推進	○ペレットストーブ・ボイラー設置への支援（エネルギー政策推進課） ○木質バイオマスの普及啓発（村山森林整備課） ○木質バイオマスの利用促進に向けた検討会や研究会の開催（総合支庁森林整備課） ○全県エコエリア構想の推進（農業技術環境課） ○堆肥製造施設の整備や散布機械等の導入整備に対する助成（畜産振興課）
		Ⅲ廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減（廃棄物の適正処理の推進）	施策７　廃棄物の適正処理の推進	○産業廃棄物の排出者、処理業者、処理施設に対する立入検査や行政検査の実施 ○産業廃棄物処理施設の設置に係る住民との調整等 ○ＰＣＢ処理施設の建設・維持経費への拠出金の拠出 ○ＰＣＢ広域協議会への出席・ＰＣＢ廃棄物運搬に係る連絡調整 ○ＰＣＢ廃棄物保管届出者への指導 ○未処理ＰＣＢ使用製品の掘り起こし調査　［確認対象：約 7,000 事業所］
			施策８　廃棄物の不法投棄の防止	○パトロールによる不法投棄の未然防止 ○不法投棄防止対策協議会への支援 ○地域住民参加型の回収では困難箇所の原状回復
			施策９　海岸漂着物等の回収処理及び発生抑制の推進	○沿岸部における清掃美化活動に対する支援　［海岸等清掃ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加者数：3,892 人］ ○陸域部における河川ごみ発生抑制のための普及啓発 ○大学生を対象とした若者ボランティアリーダーの育成 ○市町が実施する海岸漂着物回収事業等への支援
			施策 10　災害時の廃棄物処理体制の構築	○市町村災害廃棄物処理計画の策定支援

基本的数値目標

	最新値（H29）	→	目標値（R2）
一般廃棄物排出量：	395 千ｔ	→	355 千ｔ
うち事業系一般廃棄物排出量：	111 千ｔ	→	89 千ｔ
家庭系ごみ排出量(1 人 1 日当たり)：	525ｇ	→	430ｇ
一般廃棄物リサイクル率：	18.8%	→	27%
一般廃棄物最終処分量：	42 千ｔ	→	38 千ｔ
産業廃棄物排出量：	3,501 千ｔ	→	3,558 千ｔ
産業廃棄物リサイクル率：	61.3%	→	60%
産業廃棄物最終処分量：	93 千ｔ	→	90 千ｔ